

# あそびのひろば

## 実践ハンドブック

広島県教育委員会  
令和7年3月

次の用途別の使用方法を参考にして御活用ください。

資料集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38

    家庭教育支援啓発用物品一覧

    家庭教育支援啓発用資料一覧

---

## はじめに

---

少子化、核家族化、情報化、国際化など、社会の急激な変化を受けて、子供の育ちをめぐる環境や家庭における親の子育て環境も変化しています。先行き不透明で「予測困難な時代」を迎える中、生涯にわたる人格形成の基礎を培う「乳幼児期」から、全ての子供たちが、豊かな自然環境や地域資源に実際に触れ、主体的・創造的な遊びや直接的な体験を通じて学び、未来に向けて力強く生き抜く力を育んでいくことがますます重要視されています。

広島県教育委員会では、平成 29 年2月、子供が育つ環境にかかわらず、県内全ての乳幼児に、家庭や幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園・地域型保育等において、「遊びは学び」という理念の下、乳幼児期に育みたい力の育成に向けた教育・保育が行われ、小学校以降の教育の基礎が培われるよう、本県の乳幼児期の教育・保育の基本的な考え方と、それを実現するための施策の方向性と取組内容を示した「「遊び 学び 育つひろしまっ子!」推進プラン」を策定しました。

乳幼児にとって家庭は、家族との関わり方を通じて人への基本的な信頼感を育む重要な「場」であり、家庭教育は、子供の基本的な生活習慣の習得、自立心の育成、心身の調和のとれた発達などに大きな役割を担っています。乳幼児期の子供にとって、「遊び」は探究の宝庫で、「遊び」そのものが「学び」であるという乳幼児期の教育・保育の基本的な考え方を基に、保護者が安心して自信をもって子育てができるよう、子供の育ちに関する基本的な考え方や、子供との関わり方で大切にしたい視点などについて発信し、保護者の共感的理解や実践を促すことが必要です。

そのための取組の一つとしてスタートしたのが、家庭や公園など身近な場所で気軽に取り組むことができる遊びを親子で一緒に体験し、「遊びは学び」を保護者が体験的に理解する、この「あそびのひろば」です。

令和4年3月に策定した「「遊び 学び 育つひろしまっ子!」推進プラン(第2期)」でも継承され、乳幼児教育支援センターが「あそびのひろば」を開催することに加えて、乳幼児期の子育て家庭(親子)にとって身近な地域において「あそびのひろば」が開催されるよう、その趣旨を周知するとともに、「あそびのひろば」の企画・運営を通して、乳幼児の保護者に「遊びを通じて子供が学んでいること」・「遊びへの大人の関わり方」を伝える「あそびのひろば」ファシリテーターの養成に向けて地域人材を対象とした研修の実施などに取り組むこととしています。

このハンドブックでは、「あそびのひろば」ファシリテーターの役割や、実践事例など、「あそびのひろば」を実践する際に必要な様々な情報を紹介しています。「あそびのひろば」ファシリテーターをはじめ、市町の家庭教育支援や子育て支援の行政担当者など、「あそびのひろば」に関わる多くの皆さんの参考になれば幸いです。

令和7年3月

広島県教育委員会

# 第1章「遊びは学び」について

## 1 「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プラン(第2期)



目指す乳幼児の姿

### 遊び 学び 育つひろしまっ子！

豊かに感じ気付く子、思いっきり体を動かして遊ぶ子、遊びを創り出す子、夢中でとことん遊ぶ子、心を通わせて遊ぶ子であり、「遊び」を通して子供それぞれの心と身体が発達が促され、「探究の芽」が育っている広島の子供です。

施策体系

施策1 教育・保育の内容や方法の充実

施策2 教育・保育を担う人材の確保、資質及び専門性の向上

施策3 小学校以降の教育との円滑な接続の推進

**施策4 家庭教育支援の充実**

施策5 乳幼児期の教育・保育を推進するための体制の構築

### 施策4 家庭教育支援の充実

- (1) **「遊びは学び」**をはじめとした親に伝えたい内容の共感的理解の促進  
家庭教育啓発資料の開発・提供、情報発信
- (2) 親の育ちを応援する学びの機会の充実  
多様な場・機会を活用した保護者への学びの提供 等
- (3) 地域における家庭教育支援のための人材育成・体制整備  
地域人材の育成 等

「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プラン（広島県教育委員会ホームページ）  
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku11/list2642.html>



## 2 「遊びは学び」とは

- 乳幼児期の子供は、遊びの中で様々な体験をしながら成長していくことで、その後の生活や学習の基盤となることばの力や人と関わる力などを学び、身に付けていきます。**乳幼児にとって、普段の生活での何気ない「遊び」が「学び」そのものです。**

### ⇒広島県の乳幼児期の教育・保育の基本的な考え方

- 遊びや日々の生活の中で、発見すること（感じる・気付く力）、体を動かすこと（うごく力）、創造すること（考える力）、困難を乗り越えること（やりぬく力）、人と関わること（人とかかわる力）などを繰り返し経験することで、「探究の芽」が育まれ、これが生涯にわたって主体的に学び続けることにつながります。

### 乳幼児期に育みたい「5つの力」

#### ○感じる・気付く力

身の周りの自然、人、出来事などに心が動き、興味を持って関わる中で、その面白さ、不思議さ、美しさ、心地よさ、辛さ、悲しさ、優しさなどを感じ取る力

#### ○うごく力

自分のやりたいことへ向かって、心や身体を積極的に働かせて取り組み、自分の身体をコントロールして遊んだり、状況に応じて適切な行動をとったりする力

#### ○考える力

やりたいことを実現するために、必要な物や情報などを集めたり、実現するための方法を考えたりする力

#### ○やりぬく力

困難や失敗があってもあきらめず、自分の気持ちを立て直し、「やればできる」という気持ちを持って、粘り強く取り組み、やり遂げる力

#### ○人とかかわる力

表情や言葉などを通して、互いの思いや考えを伝え合ったり、折り合いを付けたりしながら、多様性を受け入れ、様々な人とのよい関係を築く力

### 3 乳幼児の親に伝えたい内容

広島県・広島県教育委員会は「「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プラン(第2期)」において、「遊びは学び」などの、子供の育ちに関する基本的な考え方や、子供との関わり方で大切にしたい視点などについて、乳幼児の親に伝えたい内容として、発信しています。こうした内容を「あそびのひろば」に参加した保護者に伝え、各家庭での実践につなげていただきたいと考えています。

《乳幼児の親に伝えたい内容(一例)》

#### 学びの芽生え

子供は、遊びや生活の中で、好奇心や探究心を培い、「学びの芽生え」を育んでいます。知識やスキルなど見える力を伸ばすことだけを重視しすぎないことが大切です。

#### 子供と楽しむ

子供は育ちゆく独立した一人の人間です。子供を一人一人の人格を持つ存在として尊重し、子供と触れ合ったり、一緒に遊んだり、考えたりするなど、楽しい経験を子供と一緒に共有することが大切です。

#### 成長のペースを見守る

子供にすぐに答えを教えてしまうなど、子供自身で考えたり、挑戦したりする機会を奪ってはいませんか。自分でやりたいという子供の気持ちを受け入れ、子供の成長のペースに合わせて、子供のできないところを援助する姿勢が大切です。

#### 子供が幸せになる

競争に勝つことが子供を幸せにすることではありません。子供たちが現在や将来に夢や希望を持ち、その実現に必要な力を身に付け、いつでもチャレンジすることができるよう、生きていく力を育むことが求められています。

#### 子供たちの未来を切り拓く力

学力テストなどでは数値化できない「非認知能力」とも呼ばれる「社会情動的スキル」が、「未来を切り拓く力」として注目されています。意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、自制心、コミュニケーション能力など数値化しにくい力と、認知能力の両方の力を、相互に関連しあって高めていくことが大切です。

#### 絵本でコミュニケーション

絵本を通して触れ合う時間は、親子にとって楽しいひとときとなり、子供の家族への信頼が深まります。子供が絵本の楽しさと出会えるきっかけづくりをすることが大切です。

#### 愛着の形成

子供は、保護者など特定の大人との継続的な関わりにおいて、愛され、大切にされることで、情緒的な絆が深まり、情緒が安定し、人への信頼感が育まれます。特にスキンシップは大きな役割を果たします。

#### 周りに相談する力

子供は社会の宝であり、社会全体で子供と子育てを応援していく必要があります。保護者が個々の家庭で悩みを抱え込まず、地域や行政など外部へ相談することも大切です。

#### ありのままの姿を認める

子供には一人一人異なる資質や特性があり、その成長には個人差があります。子供の多様な感情や行動を受け止め、温かく見守り、ありのままの姿を認めるなど、その子の一番よいところを伸ばしていく子育てをすることが大切です。

#### デジタル時代の子育て

スマホ等のデジタル機器は、いまや生活に欠かすことはできません。ただし、その長時間の使用は子供の心身の発達に影響を及ぼすことが懸念されています。乳幼児期の子供には「直接的で具体的な体験を伴う遊び」が大切です。スマホ等との上手な付き合い方を考えましょう。

#### 基本的な生活習慣を育む

家庭は、子供が心身を健康に保つための生活の基盤となる基本的な生活習慣を定着させる大切な場です。子供は、身近な大人の支えによって、自ら基本的な生活習慣を身に付けることで、自己発揮と自己抑制がともに機能し、自律性が育まれていきます。

#### 子供とともに成長

子育てに、「これが正しい」という唯一絶対の正解はありません。完璧にはいかない「子育てという営み」の中で、子供とともに保護者自身も成長していきましょう。

## 遊びは学び



## 第2章「あそびのひろば」について

### Ⅰ「あそびのひろば」とは

#### 目 的

家庭や公園など身近な場所で気軽に取り組むことができる遊びを親子で一緒に体験し、「遊びは学び」を保護者が体験的に理解することで、保護者に「遊びを通じて子供が学んでいること」・「遊びへの大人の関わり方」を伝える。

#### 対 象

乳幼児期の子育て家庭（親子）

#### 場 所

乳幼児期の子育て家庭（親子）にとって身近な場所

例えば、

- ・親子の集まるイベントで…
- ・幼稚園や保育所等で…
- ・こども家庭センターやネウボラ、児童館等で…
- ・図書館や公民館等の社会教育施設で…
- ・ショッピングセンターなど商業施設で…
- ・公園や屋外の自然の中で…



「あそびのひろば」に決まった場所はありません。

#### 遊びの五原則

- 1 遊びは楽しくなければならない。
- 2 遊びはそれ自体が目的であるべきで、何かほかの目的（例えば、文字を読むため、英語を話せるようになるため）であってはならない。
- 3 遊びは遊ぶ人の自発的な選択によるものでなくてはならない。
- 4 遊びは遊ぶ人が能動的に関わらなければならない。遊ばせてもらっていたら遊びではない。
- 5 遊びは現実から離れたもので、演技のようなものである。子供が何かの「ふり」をしていたらそれは遊びである。

引用：今井 むつみ著「学びとは何か―探究人になるために」岩波新書（新赤版）1596 2016.3.18 発行

## 2 有識者からのメッセージ

子供は毎日どんどん成長しています。成長するのは、身体だけではなく、ことばも、知識も日々成長していきます。でも、大人は成長に感動するより、つつい周りの子供と比べてしまいます。お隣の子供は2歳でことばを話したのに、うちの子はまだ話しはじめていないとか、近所の子はもう英語塾に行っているけど、うちの子はこのままでよいのかしら、など。

学校に行く前の時期は子供にとってとても大事です。体を動かし、手先を使うことは脳の発達を促します。また、学校で学ぶことの準備をする時期でもあります。でも、それは、塾に行かせて漢字を覚えさせるとか、小学校で習う掛け算や割り算を先取りして家で覚えることが大事ということではありません。子供は塾で教えられて日本語を覚えているわけではありませんね。単語の意味も、単語をつなぐ規則（文法）も、全部自分で発見し、考えて覚えていきます。子供は、ものすごい考える力と学習する力をもっているのです。子供は遊びや生活の中から様々なことを発見し、学ぶ力をもっています。ことばについても、数のしくみについても、人との関わり方についても…子供は自分一人でも遊びますが、大人と一緒に話をし、遊ぶことで、発見が促され、一人で遊ぶよりたくさんのことを学びます。また、新しいことを学ぶ力も、大人との遊びで育まれます。

この「あそびのひろば」で、それを実感していただければと思います。

慶応義塾大学 環境情報学部 教授  
今井むつみ 先生



子供たちはとにかく好奇心がいっぱいで、“いろんなことを知りたい”、“やってみたい”という気持ちがあります。そして好奇心いっぱいの子供たちは、見る、聞く、触れる、かきまわる、なめてみる、など5感を使って常に情報を集めようとします。これは「探索行動（たんさくこうどう）」と呼ばれ、ヒトが自然の法則や社会を学ぶための第1歩となります。子供たちが自分から起こす探索行動は、日々の生活（食事をしたり、服を着替えたり）や遊び（かくれんぼ、鬼ごっこ）の中にあります。

「あそびのひろば」では、「遊びの中に学びがある」ことを体験する場として、大人と子供と一緒に遊び、やり遂げるという工夫がされています。ある研究によると、大人が“子供と遊ぶこと”によって子供は“遊ばれること”を学び、“遊ばれること”を学んだ子供は、今度は自分たちが遊ぶために自ら探索行動ができるようになるそうです。今日の体験を機会に、大人がしっかり子供と遊ぶことを楽しみ、自分（大人）も幸せな気持ちになることをお願いしたいと思います。そうすることで、子供たちは自然の法則や社会を学ぶことにつながっていくのだらうと思っています。

県立広島大学 保健福祉学部 教授  
島谷康司 先生



## 第3章 企画・運営のヒント

### Ⅰ 「あそびのひろば」ファシリテーターとは

乳幼児の保護者が「遊びは学び」を体験的に学び、主体的に各家庭での実践につなげていけるよう、「あそびのひろば」の企画・運営を通して、乳幼児の保護者に、「遊びを通じて子供が学んでいること」・「遊びへの大人の関わり方」を伝える者です。

地域において「あそびのひろば」を主体的に開催したり、市町の家庭教育や子育て支援の担当課等が開催する「あそびのひろば」へ協力したりするなど、「あそびのひろば」の「企画」、「場づくり」、「進行」を担うのが、「あそびのひろば」ファシリテーターの役割です。

#### ファシリテーターとは

人々の参加を促進し、対話を育み、学びや創造を容易にするよう支援し、舵取りをする役割を担う人（進行役）です。学習者が安心して学習活動を行うに当たり、その学習成果が最大限に高まるよう、工夫しお手伝いします。

一般的に、ファシリテーター（英: facilitator）とは、「支援し、促進する人」という意味を持ち、「容易にする、円滑にする、スムーズに運ばせる」という意味の動詞、ファシリテート（英: facilitate）に由来しています。（facilitate の語源であるラテン語 Facilis は、「easy」を意味します。）

#### 実践者のメッセージ

「あそびのひろば」に参加された親が、「今日は子供を叱らなかったぁ!」と感想を残されたのが印象に残っています。子連れで出かけるだけでも大変。その上に、公園でも、図書館でも、実家でも、周りに気を遣ってしんどい。ほっとできる居場所がなかなかないと日頃の悩みを語られました。子連れのしんどさは、子育てを経験した人ならだれもがきっと覚えがあると思います。「でも、今日は親子で開放的な時間をすごせた」という言葉に、子育て環境は社会でつくっていくもの、と教えられた気がしました。

「子育てが不安」と子供の育ちを確認されることもあります。ある時、「あそびのひろば」に参加された親が「この子は、やりたいことを発見すると熱中して、周りが見えなくなるけど大丈夫かな。」とポロっと言われました。その後も何気ないおしゃべりをしながらその子の様子を眺めていると、気付けば私も親も「わ、かわいい!かわいい!」とふたりで連呼。大丈夫、みんな今、成長している途中だから。子供も親も、そして私自身も。そんなことに気付かせてもらえたひとときでした。

親にとって、わが子の今と一緒に感じとって、かわいさや成長に気付いてくれる「お隣さん」の存在は、心強いと思います。その存在のお陰で、すごく大変な子育てを乗り越えられるし、「わが子やっぱりカワイイ」っていう感情が増し増しになるんじゃないかなと思います。私たちも子供たちの遊ぶ姿や親たちに出会えてハッピーです。

親が安心して子育てができる、子供の成長を喜び合える社会の仕組みとしても、広島県じゅうに「あそびのひろば」を一緒に広げていきましょう!

「あそびのひろば」ファシリテーター  
NPO 法人ほしはら山のがっこう  
ふるさと自然体験塾長 浦田 愛さん



## 2 「あそびのひろば」ファシリテーターの“3つの役割”

### 役割 1

### 「あそびのひろば」の“企画”

様々な主体と連携・協働し、親子が参加しやすい日程や会場、興味を引くようなプログラムなど、乳幼児の親子の目線で“企画”をしましょう。

- 必要に応じて、行政関係者、企業、教育・福祉の施設関係者や他のボランティアなどと連携・協働
- 親子が参加しやすい日程を決め、遊びの内容に応じた会場を選定
- 保護者に「遊びを通じて子供が学んでいること」・「遊びへの大人の関わり方」を伝える仕組みづくり
- 必要な人に届けるための広報

### 役割 2

### 「あそびのひろば」の“場づくり”

「あそびのひろば」では子供が遊びに没頭し、保護者が安心して関わり、見守ることができる“場づくり”をしましょう。

- 乳幼児とその保護者が主体的に楽しめる雰囲気づくり
- 親子のふれあいや参加者間の交流など、それぞれの関係づくり
- 安心安全で、実施する遊びに適した環境づくり

### 役割 3

### 「あそびのひろば」の“進行”

参加した乳幼児の親子の様子を見ながら適切な声掛け・対応を行うことで、親子の学びを支援しましょう。

- 「あそびのひろば」のコンセプトを保護者と共有
- 「遊びは学び」の視点を持って、家庭でも保護者が子供の遊びと学びを支えることの大切さについての発信
- 子供の発達段階や行動特性に応じた対応や声掛け

### 3 親子への関わりのヒント

乳幼児の保護者が「遊びは学び」を体験的に学び、主体的に各家庭での実践につなげていけるよう、「あそびのひろば」ファシリテーターは、プログラム展開の中で、次のような視点をもって親子へ関わり、適切な声掛けや対応を行うことで、親子の成長や育ちを支えましょう。

#### ● 子供が主体的に遊んでいる時に増やしたい関わり方の例

##### ・子供の行動を（具体的に）褒める（適切な行動＋一般的賞賛）

「ここに色を塗ったんだね、工夫していてすごいね。」

「〇〇貸してあげて、やさしいね。」

⇒ 大人が何を良いと思うか子供にわかりやすく、子供の良い行動を増やすことにつながる。

##### ・子供の言葉を繰り返したり、言い換えたりする

「（子供）ワンワン。」「（大人）イヌさん、ワンワンって鳴くね。」

「（子供）ハートを描いたよ。」「（大人）ハートを描いたのね。」

⇒ 子供に、大人が話を聞いていることや、子供を受け入れて理解していることを示す。子供の言葉に、言葉を加えたり少しニュアンスを変えて繰り返すことにより、子供の会話の上達にもつながる。

##### ・子供の行動を言葉にする（実況中継する）

「動物の絵本を読んでいるんだね。」

「りんごとぶどうと桃、果物の絵を描いているね。」

⇒ 子供の行動に対して大人が興味をもっていることを示すことになり、子供自身も、取り組んでいることに対して集中力が保たれる。さらに、大人の言い方を聞いて、ものやことの認識につながる。

## ●肯定的な注目を与える方法の例

- ・ほめる 「上手に作っていて、すごいね。」
- ・励ます 「あともう少し、頑張って！」
- ・その行動に気付いていることを知らせる 「難しいことも上手にやっているね。」
- ・ジェスチャー ほほえむ、拍手、「OK」・「グッド」サインなど
- ・感謝する 「元のところに戻してくれて、ありがとう。」
- ・興味や関心を示す 「かっこいいね。」
- ・スキンシップ 肩に軽く手を置く、そっと頭をなでる、ハイタッチ
- ・次の活動に誘う 「楽しそうだね、やってみよう！」

## ●ほめ方のコツの例

- ・タイミング （25%ルール、始めた時、途中までした時など）
- ・視線・からだ （近づいて、目の高さをあわせて）
- ・表情 （ほほえんで、穏やかな表情で）
- ・声の調子 （嬉しく感じていることが伝わるように、穏やかで明るく）
- ・ことば （短く、簡潔明瞭に、皮肉や批判は避けて）
- ・行動をほめる （えらいね、すごいね、のほめ言葉の前に、行動を付け加える）
- ・効果的にほめる （子供の性格や感じ方、年齢に応じたほめ方を）
  - － 派手にほめられたい（人前で堂々と伝える）
  - － 静かに認められたい（見ているよ、気付いているよとそっと伝える）

## 4 企画・報告シートの紹介

「あそびのひろば」の企画シート及び報告シートの活用事例を紹介します。

「あそびのひろば」の実施に当たっては、時間、会場、参加者の状況を考慮して、実施内容や方法等について、関係者との打ち合わせを行ってください。参加者によって、遊びや準備物、ファシリテーターや支援者の人数が変わります。事前にしっかり計画を立てておくことで、当日余裕を持って進めることができます。

なお、企画シート及び報告シートの様式は、広島県教育委員会あそびのひろばホームページからダウンロードできます。

- 企画・報告シート例1：図書館等での「読み聞かせ」
- 企画・報告シート例2：公民館等での「ふれあい遊び」
- 企画・報告シート例3：こども家庭センター等での「製作遊び」
- 保護者手交用資料：「遊びは学び」・「5つの力」の説明  
「遊びへの大人の関わり方」のヒント

(例Ⅰ：図書館等での「読み聞かせ」)

## 「あそびのひろば」企画シート

|     |                                                                                                                                     |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日時  | 令和〇年〇〇月〇〇日(〇) 10:00 ~ 10:30 (所要時間 30分) ※毎月1回第〇水曜日                                                                                   |
| 会場  | 〇〇市立図書館                                                                                                                             |
| 行事名 | あそびのひろば「おひざにだっこのおはなし会」                                                                                                              |
| 対象  | 乳幼児期の親子(5組程度)                                                                                                                       |
| ねらい | ○親子で一緒に、絵本に親しみ、楽しみながら、保護者が「遊びは学び」を体験的に理解する。<br>○保護者に、「遊びへの大人の関わり方」について共感的理解を促し、実践につなげる。<br>○子供が、絵本で様々なことばにふれたり、情景を思い浮かべながら、考える力を育む。 |
| 準備物 | 別紙「準備物一覧」のとおり。                                                                                                                      |
| 連携先 | 〇〇市立図書館、〇〇市教育委員会生涯学習課                                                                                                               |
| 広報  | 市の広報誌、ホームページ                                                                                                                        |
| 支援者 | 「あそびのひろば」ファシリテーター(名前) 〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇                                                                                                |

| 時間             | プログラムの流れ                | 留意点                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----------------|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10:00<br>(2分)  | <導入><br>○「あそびのひろば」趣旨等説明 | ○リーフレット乳児シリーズ⑦読み聞かせ編、「遊びへの大人の関わり方」ヒント・「遊びは学び」「5つの力」の説明、アンケートを手交し、終了後、アンケートを提出してもらうよう伝える。<br>○写真を撮る場合は、予め了解を取る(肖像権)<br>○和やかな雰囲気づくりに配慮する。                                                                                                                                         |
| 10:02<br>(26分) | <読み聞かせ>                 | ○様々な年齢層や興味に対応できるように幅広く絵本を選定する。<br>○参加した子供達の年齢や反応を見ながら、絵本を選んだり、子供の状況を見ながら、「見てみたい絵本ある?」と問いかけたりする。<br>○子供の状況によっては、以下のような声掛けを行う。<br>ただし、声掛けにより、真剣に聞いている子の妨げにならないよう気を付ける。<br>・ページを次々進めようとしたら・・・「手伝ってくれるの?ありがとう」<br>・大声で反応してくれたら・・・「そうだね、よく知っているね」<br>・立ち歩き始めたら・・・「動きながら聞いていてもいいよ」など。 |
| 10:28<br>(2分)  | <振り返り>                  | ○余韻が残るよう配慮する。<br>○解散時に「あかちゃんへことばのプレゼント」を保護者に手交する。<br>○要望があれば、家で読み聞かせする時のヒント等を紹介する。<br>・子供が絵本に興味をもっているようであれば声をかけてみる<br>・子供が言葉を発したら繰り返したり、やり取りを楽しむ<br>・保護者にとっても癒しの時間になるなど<br>(あまり押し付けにならないよう留意する)<br>○アンケートへの協力依頼                                                                 |
| 10:30          | <終了>                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

○啓発用物品の借用希望 (あり・なし)

⇒希望の物品の番号を記入してください。

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|

○啓発資料の送付希望 (あり・なし)

⇒希望の資料の番号と部数を記入してください。

|     |  |  |  |  |
|-----|--|--|--|--|
| 8   |  |  |  |  |
| 20冊 |  |  |  |  |

「あそびのひろば」企画シートの提出にご協力ください。事例を収集し、県HPやSNSでの周知・広報等を行います。  
広島県教育委員会 乳幼児教育支援センター 電子メール: kyoyoujic@pref.hiroshima.lg.jp

## (1)「あそびのひろば」趣旨

皆さん、こんにちは。(お手元にありますリーフレットにも記載しておりますが、)「遊びは学び」、どこかで聞いたこと、見たことがありますでしょうか。

ご承知のとおり、乳幼児の生活のほとんどは、「遊び」によって占められており、「遊び」の中で、色々なことに気付いたり、考えたり、工夫したり、友達、きょうだい、大人と関わりながら、たくさんの事を学んでいます。

読み聞かせはその代表的なものの一つです。親の温もりに触れながら、絵本の中の世界で様々な思いを巡らせたり、新しい何かに気付いたり。言葉は分かっていなくても、しっかりと親の声を聞いています。

県では、「遊び」はまさに探究の宝庫で、「遊びを通して様々なことを学んでいる」ということを「遊びは学び」として、保護者の皆様をはじめ、多くの方に対し、お伝えしているところでございます。

子供は自分一人でも遊びますが、大人と一緒に話したり、遊ぶことで、発見が促され、一人で遊ぶよりたくさんのことを学びます。また、新しいことを学ぶ力も、大人との遊びで育まれます。ぜひ絵本を通して、たくさんコミュニケーションを取ってあげてください。

この「あそびのひろば」を通じて、そうしたことを少しでも感じていただければと思います。それでは、最後までゆっくり、お楽しみください。

## (2) 読み聞かせ

＜準備する絵本＞

- ・あかちゃんのおと
- ・あがりめさがりめ
- ・おつきさまこんばんは
- ・だるまさんが
- ・がたんごとんがたんごとん
- ・しろくまちゃんのほっとけーき
- ・たまごのあかちゃん
- ・どうぞのいす
- ・こいぬがうまれるよ
- ・しりとりあそびしろとくろ
- ・はじめてのおつかい
- ・ペレのあたらしいふく

(例Ⅰ：図書館等での「読み聞かせ」)

## 「あそびのひろば」報告シート

|     |                                                                                                                                      |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日時  | 令和〇年〇〇月〇〇日(〇) 10:00 ~ 10:30 (所要時間 30分) ※毎月1回第〇水曜日                                                                                    |
| 会場  | 〇〇市立図書館                                                                                                                              |
| 行事名 | あそびのひろば「おひざにだっこのおはなし会」                                                                                                               |
| 参加者 | 5組(子供5名、保護者5名)                                                                                                                       |
| ねらい | ○親子で一緒に、絵本に親しみ、楽しみながら、保護者が「遊びは学び」を体験的に理解する。<br>○保護者に、「遊びへの大人の関わり方」について共感的理解を促し、実践につなげる。<br>○子供が、絵本で様々なことばにふれたり、情景を思い浮かべしながら、考える力を育む。 |
| 準備物 | 別紙「準備物一覧」のとおり。                                                                                                                       |
| 連携先 | 〇〇市立図書館、〇〇市教育委員会生涯学習課                                                                                                                |
| 広報  | 市の広報誌、ホームページ                                                                                                                         |
| 支援者 | 「あそびのひろば」ファシリテーター(名前) 〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇                                                                                                 |

| 時間             | プログラムの流れ                | 実施中の様子                                                                                      |
|----------------|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10:00<br>(2分)  | <導入><br>○「あそびのひろば」趣旨等説明 |                                                                                             |
| 10:02<br>(26分) | <読み聞かせ>                 | ○最初は参加者が少なく、読み聞かせを開始してから、徐々に参加者が増え始めた。参加者は全員最後までおられた。<br>○また、途中から立ち歩きだして、室内の他の絵本に興味を示す子がいた。 |
| 10:28<br>(2分)  | <振り返り>                  |                                                                                             |
| 10:30          | <終了>                    |                                                                                             |

### 参加者の声、感想など

- 子供がめずらしく集中して聞いていた。家でも時間のある時はできるだけ、絵本を読んであげたい。
- 説明や配付資料が勉強になった。できれば、次回も参加したい。

### 今回の実施に際して工夫した点、気づき、ファシリテーターの感想など

- 口頭での「あそびのひろば」趣旨説明とともに、リーフレットや、「大人への遊びの関わり方」ヒント、「遊びは学び」・「5つの力」についての説明資料を手交していたため、保護者への理解が深まっているようであった。
- 開始当初は、参加者が少なかったことから、子供に聞いてみたい本を選ばせてあげるよう促した。
- 途中から参加者が増えてきたが、読み聞かせ中であつたため、雰囲気壊さないよう資料配付や説明は、終了時に行うことで対応した。
- 読んでいる途中に立ち歩きだして、室内の他の絵本に興味を示す子がおり、保護者が申し訳なさそうに、座らせようとしていたので、子供にその絵本を渡し、保護者に動きながら楽しんでいただいていた旨をお伝えした。

「あそびのひろば」実践後には、報告シートの提出(活動中の写真等を含む)にご協力ください。事例を収集し、県HPやSNSでの周知・広報等を行います。

広島県教育委員会 乳幼児教育支援センター 電子メール: kyoyoujic@pref.hiroshima.lg.jp

## 「あそびのひろば」企画シート

|     |                                                                                                                                                                                      |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日時  | 令和〇年〇〇月〇〇日(〇) 10:30 ~ 11:00 (所要時間 30分)                                                                                                                                               |
| 会場  | 〇〇公民館                                                                                                                                                                                |
| 行事名 | あそびのひろば「親子のふれあい遊び」                                                                                                                                                                   |
| 対象  | 乳幼児期の親子(約 10 組)                                                                                                                                                                      |
| ねらい | <p>○親子で一緒に身体を使ったコミュニケーションや諸感覚を使った身体遊びの楽しさを味わいながら、保護者が「遊びは学び」を体験的に理解する。</p> <p>○保護者に、「遊びへの大人の関わり方」について共感的理解を促し、実践につなげる。</p> <p>○諸感覚を使った身体遊びの楽しさを体感し、スキンシップを通して子供に安心感をもたせ、愛着関係を育む。</p> |
| 準備物 | 別紙「準備物一覧」のとおり。                                                                                                                                                                       |
| 連携先 | 〇〇子育てサークル、〇〇市こども家庭課                                                                                                                                                                  |
| 広報  | 市の広報誌、ホームページ                                                                                                                                                                         |
| 支援者 | 「あそびのひろば」ファシリテーター (名前) 〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇                                                                                                                                                |

| 時間             | プログラムの流れ                                                                                                               | 留意点                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10:30<br>(5分)  | <p>&lt;導入&gt;</p> <p>○挨拶・「あそびのひろば」趣旨・流れ等説明</p> <p>○自己紹介</p>                                                            | <p>○リーフレット乳児シリーズ⑤いないいないばあ編、「遊びへの大人の関わり方」ヒント・「遊びは学び」「5つの力」の説明、啓発資料「スキンシップがいろいろいい」、アンケートを手交し、終了後、アンケートを提出してもらうよう伝える。</p> <p>○写真を撮る場合は、予め了解を取る。(肖像権)</p> <p>○和やかな雰囲気づくりに配慮する。</p> <p>○必要に応じて、参加者同士での自己紹介を促す。</p> <p>○親子で一緒に歌を歌いながら体操すること、難しい動作はなく、ファシリテーターの真似をすればいいことを伝える。</p> <p>☆親子の名前を呼び、「今日は一緒に遊ぼうね」と一声かける。</p> <p>☆できない場合ややりたくない場合には、子供のペースに応じて無理に参加しなくてもいいことを伝えようと不安なくスタートできる。</p>                |
| 10:35<br>(20分) | <p>&lt;ふれあい遊び&gt;</p> <p>○どんぐりころころ(4分)</p> <p>○森のくまさん(4分)</p> <p>○ぶんぶんぶん(4分)</p> <p>○ねこふんじゃった(4分)</p> <p>○ぞうさん(4分)</p> | <p>○危ない時以外は、子供の行動を制止せず、見守る。</p> <p>○一緒に思い切り身体を動かして楽しむ。</p> <p>○成長段階に応じて、出来るところまで行う。</p> <p>○向かい合っただけの体操は、目と目を合わせてコミュニケーションを更に深める。</p> <p>○それぞれの遊びの後に親が子供を一度抱きしめて、親子のふれあいを深める。</p> <p>○ほめ言葉など、親子への声かけを適宜入れながら進める。</p> <p>《ほめポイント》 ※その都度ほめる。</p> <p>・できた、少しでもできるようになった、チャレンジした、あきらめず頑張ったなど</p> <p>《声かけ例》</p> <p>いい例:気持ちいいね、楽しいね、すごいね、最後までがんばったね、家でもやってみてねなど</p> <p>悪い例:ちゃんとして、なんでできないの、皆はできているよ、など</p> |
| 10:55<br>(5分)  | <振り返り>                                                                                                                 | <p>○活動中の子供の活動の様子や言葉などを紹介する。</p> <p>☆もし感想を聞く場合も、話したくない人は無理に話さなくてもいいことを伝える。</p> <p>○アンケートへの協力依頼。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 11:00          | <終了>                                                                                                                   | ○次回の案内                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

○啓発用物品の借用希望 (あり・なし)

⇒希望の物品の番号を記入してください。

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|

○啓発資料の送付希望 (あり・なし)

⇒希望の資料の番号と部数を記入してください。

|      |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|
| 5    |  |  |  |  |
| 20 枚 |  |  |  |  |

## (1)「あそびのひろば」趣旨

皆さん、こんにちは。(お手元にありますリーフレットにも記載しておりますが、)「遊びは学び」、どこかで聞いたこと、見たことがありますでしょうか。

ご承知のとおり、乳幼児の生活のほとんどは、「遊び」によって占められており、「遊び」の中で、色々なことに気付いたり、考えたり、工夫したり、友達、きょうだい、大人と関わりながら、たくさんの事を学んでいます。

ふれあい遊びでは、親子で目と目で見つめ合ったり、肌が触れ合って幸せな気分になったり、動く楽しさを感じたり、身体を動かすときの歌や歌詞が好きになったりもします。

県では、「遊び」はまさに探究の宝庫で、子供は「遊びを通して様々なことを学んでいる」ということを「遊びは学び」として、保護者の皆様をはじめ、多くの方に対し、お伝えしているところでございます。

子供は自分一人でも遊びますが、大人と一緒に話したり、遊ぶことで、発見が促され、一人で遊ぶよりたくさんのことを学びます。また、新しいことを学ぶ力も、大人との遊びで育まれます。ぜひ親子での触れ合いを通して、たくさんコミュニケーションを取ってあげてください。

この「あそびのひろば」を通じて、そうしたことを少しでも感じていただければと思います。それでは、最後までゆっくり、お楽しみください。

## (2) ふれあい遊び

### 1 プログラムの概要

- ① 内 容 親子ともによく知っている童謡や唱歌に合わせて親子のスキンシップがとれる体操を行う
- ② 場 所 周りに障害物がない室内や公園など
- ③ 時 間 20 分前後
- ④ 準備物 なし

### 2 ねらい

- ・ 親子の身体を使ったコミュニケーションづくり。
- ・ 親子の愛情や信頼関係を更に深める。
- ・ 諸感覚を使った身体遊びの楽しさを体感する。

### 3 プログラムの進め方

| プログラム内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 保護者の関わりポイント                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(導入)</p> <p>・親子で一緒に5曲の歌を歌いながら体操をすることを伝える。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | <p>・ 難しい動作はなく親の真似をすればいいこと、簡単にできることを伝えると不安なくスタートできるでしょう。</p>                                                                                                                                                                                     |
| <p>■ 手首運動 ♪どんぐりころころ</p> <p>♪どんぐりころころどんぶりこ<br/>※ 両手とも拳を握って、両手をくるくる回す。</p>  <p>♪お池にはまってさあ大変<br/>※ 反対に回す。</p>  <p>♪どじょうが出てきてこんにちは<br/>※ 親子で向きあって一礼する。</p>  <p>♪坊ちゃん一緒に遊びましょ<br/>※ 向きあったまま両手をつないで、手首を曲げたり、反らしたりする。</p>  | <p>・ 手首をしっかり動かそうと伝え、子供のやる気を引き出しましょう。</p> <p>・ 向かい合って動作を実施すると、子供が真似をしやすくなります。</p> <p>・ 手首回しが上手くできたらほめてあげましょう。</p> <p>・ 手首回しが難しいようならテンポをゆっくりして行いましょう。</p> <p>※ 慣れてきたら「♪どんぐりころころどんぶりこ〜」、「♪お池にはまってさあ大変〜」と、最後の部分を伸ばして歌いながら手首回しを早く回数を多くして楽しみましょう。</p> |
| <p>■ 上肢ストレッチ ♪森のくまさん</p> <p>♪ある日(ある日)<br/>※ 親が両手上肢を伸ばしてポーズ。<br/>＜例＞</p>  <p>♪森の中(森の中)<br/>※ 子供が動いて両手の平を合わせる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                     | <p>・ 親は大きく動いて楽しさを表現しましょう。</p> <p>・ タイミングが合わなくても、親子のふれあいを楽しみましょう</p> <p>・ 親がポーズを取って子供を待つ際、笑顔で迎えてあげましょう。</p>                                                                                                                                      |

- ♪ 熊さんに(熊さんに)  
※ ポーズを変える。



- ♪ 出会った(出会った)  
※ 子供が動いて両手の平を合わせる。



- ♪ ラララララララ〜/花咲く森の道熊さんに出会った  
※ 親子で向かい合って、  
両手を合わせて手拍子する。



## ■ 早歩き運動 ♪ ぶんぶんぶん

- ♪ ぶんぶんぶん蜂が飛ぶ  
※ 親は立って動かず、子供が蜂になって、  
親の周りを早歩きで回る。



- ♪ お池の周りで野ばらが咲いたよ  
※ 反対に回る。



- ♪ ぶんぶんぶん蜂が飛ぶ  
※ 子供が止まって、  
両手人差し指を構える。



- ※ 親または進行する人が体の部位をコールする。  
子供はコールした部位を人差し指で刺し、  
親は刺されないように手でブロックする。

- 【ルール説明】 <例:おなか>  
「おなかといったらおなかをさしてね」  
と、実際に動作を見せながら説明する。  
それが理解できたら、「親が手でブロック  
するので、早く刺してね」と次のルールを  
説明する。



- ・ 向かい合うポジションだけでなく後ろ向きになって手を後ろに差し出す、脚の間から手を差し出す、動いて別の場所に移動して手を出す、高く手を上げ、子供がジャンプして手を合わすなどポジションを変化させたりして楽しみましょう。

- ※ 子供が慣れてきたら役割を交代する提案をするとよいでしょう。

〜役割を交代した後は〜

- ・ 子供がなかなかポーズ出来ない場合は、どんなポーズをしてみたいか子供の考えを聞いてあげましょう。
- ・ 子供の考えたポーズが親の真似の場合でもポーズをやろうとしたことを、また、オリジナルだった場合はよく考えたねとほめてあげましょう。
- ・ 途中、子供が全力で走って移動することがあった場合親も、全力で追いかけて応えてあげましょう。

- ・ 「さあ!蜂に変身しようね」と子供の興味と理解を高めながら始めましょう。

- ・ 子供がはしゃいで回ったら楽しさを感じていると理解して、無理に止めずに一緒に楽しみましょう。

- ・ (目を回さないためにも) 反対に回ろうと声をかけましょう。

- ・ 声をかけても一方向に激しく回り続けたり、止まらない時は体を持って止めて一度クールダウンしましょう。

この時、いきなり叱るのではなく目が回ってしんどくなることや次の動作がもっと楽しいことを伝えましょう。

- ・ ストップ!と声をかけ、人差し指を示して「これが蜂の針だよ」と教えると分かりやすいでしょう。

- ・ 部位の替え方は子供が手の届きやすくわかりやすい場所からにし、頭など手が届かない部位の時は親が座って行いましょう。

- ・ 親が刺された時やブロックできた時はオーバーにリアクションしましょう。

- ・ 子供が素早く刺すことが出来た時は上手だねとほめてあげましょう。

- ・ ルールを守ることよりも、親子で楽しむことを意識しましょう。

- ※ 慣れてきたら役割を交代してみない?と自主性を引き出す声掛けをしてみましょう。

## ■ 心拍数アップ ♪ねこふんじやった

♪猫ふんじやった猫ふんじやった 猫ふんじやふんじやふんじやった

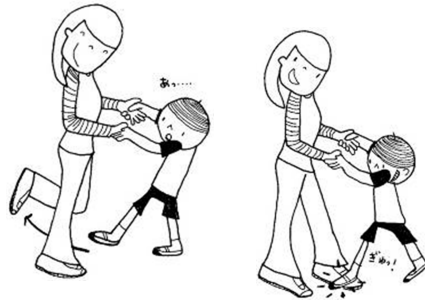
猫ふんじやった猫ふんじやった 猫ふんじやふんじやふんじやった  
※ 親子で手をつなぐ。

### 【ルール説明】

- ・ 子供は頑張って親の足を踏もうとして、親は踏まれないように頑張って逃げるというルールを説明する。



※ 子供が親の足を踏み、親は踏まれないように逃げる。

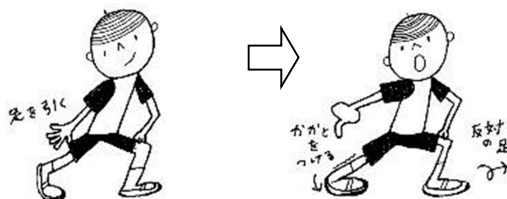


## ■ 全身ストレッチ ♪ぞうさん

### ●ひとりで

♪ぞうさん ぞうさん お鼻が長いのね そうよ 母さんも長いのよ

- ① 片足を後ろに引き、ゆっくり踵をつけて、ふくらはぎをストレッチ。



脚を変える。



- ② 片脚を横に伸脚し、踵をつけてつま先を上げ、脚の内側をストレッチ。



- ・ ♪ねこふんじやったの歌と一緒に歌って始めるとよいでしょう。

- ・ 子供の動きが俊敏だったり、集中していたり、工夫している様子がみられたらしっかりほめてあげましょう。
- ・ 親が足を踏まれたり、踏まれなくても時間を見計らってストップをかけましょう。
- ・ 子供がすぐやめない時は抱きしめるとよいでしょう。
- ・ ストップをかけても足を踏もうとする時は、すぐダメ出しをせず、クールダウンして、気持ちを聞きましょう。その後ゲームが終わって踏むのはルール違反であることを伝えるとよいでしょう。

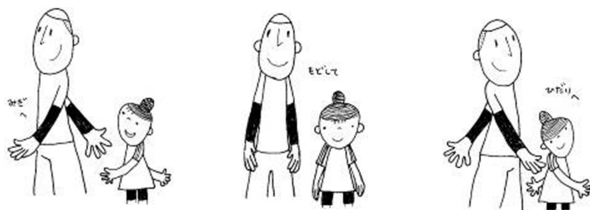
- ※ 慣れてきたら役割を交代してみない？と自主性を引き出す声掛けをしてみましょう。
- ・ 役割を交代した場合、子供が逃げるのに慣れるまで、親はゆっくりと動きましょう。
- ・ うまく逃げる事ができたら「上手だったね」とほめてあげましょう。

- ・ 「ぞうの長い鼻のように体を伸ばしていこうね」と声掛けをして始めると活動がイメージしやすいでしょう。
- ・ 親が動作を示して真似をしてもらいましょう。

- ・ 上手に出来た場合は「よく伸びているね」「上手だね」とほめてあげましょう。
- ・ なかなかできない場合は無理にさせようとせず、できたところまでを認めてほめましょう。

- ・ 上手に出来た場合は「よく伸びているね」「上手だね」とほめてあげましょう。
- ・ なかなかできない場合は無理にさせようとせず、できたところまでを認めてほめましょう。

- ③ 腕を伸ばしてゆっくり右後方へひねり、腰のストレッチ  
体を戻して、左後方へ体をひねる。



#### ●ふたりで

- ④ 親子で向かいあって両手をつなぎ引っ張る→腕を後方に引  
いて胸のストレッチ。



- ⑤ 親子が横に並び下で右手と左手をつなぎ、  
左手と右手を頭上でつなぎ体側のストレッチ。



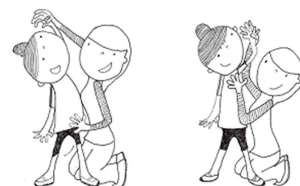
- ⑥ 親子で背中合わせになり、お尻をつけて親が子供の両手を持  
って引っ張って背中に乗せて背中ストレッチ。



- ・ 親が反対にひねって、顔を見合わせてニコッと笑顔を見せるのも楽しいでしょう。
- ・ 「よく伸びているね」「気持ちいいね」と声をかけてあげましょう。

- ・ 引っ張りすぎると子供が前に動くので力加減を調整しましょう。

※ 背の高さなどで、この動作が難しい場合は、片手を脇に合わせて頭上に伸ばし、親が脇を上から下へなで下す動作に変えましょう。



- ・ 子供が高さで怖がる時は、親が腰を落として片脚の膝を床につけて高さを低くして行うとよいでしょう。

#### ふりかえり

- ・ 全体を通しての感想を子供に聞いてみましょう。
- ・ 楽しかったね、またやろうねという声掛けをしましょう。

(例2:公民館等での「ふれあい遊び」)

## 「あそびのひろば」報告シート

|     |                                                                                                                                                                       |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日時  | 令和〇年〇〇月〇〇日(〇) 10:30 ~ 11:00 (所要時間 30分)                                                                                                                                |
| 会場  | 〇〇公民館                                                                                                                                                                 |
| 行事名 | あそびのひろば「親子のふれあい遊び」                                                                                                                                                    |
| 参加者 | 8組(子供8名、保護者8名)                                                                                                                                                        |
| ねらい | ○親子で一緒に身体を使ったコミュニケーションや諸感覚を使った身体遊びの楽しさを味わいながら、保護者が「遊びは学び」を体験的に理解する。<br>○保護者に、「遊びへの大人の関わり方」について共感的理解を促し、実践につなげる。<br>○諸感覚を使った身体遊びの楽しさを体感し、スキンシップを通して子供に安心感をもたせ、愛着関係を育む。 |
| 準備物 | 別紙「準備物一覧」のとおり。                                                                                                                                                        |
| 連携先 | 〇〇子育てサークル、〇〇市こども家庭課                                                                                                                                                   |
| 広報  | 市の広報誌、ホームページ                                                                                                                                                          |
| 支援者 | 「あそびのひろば」ファシリテーター(名前) 〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇                                                                                                                                  |

| 時間             | プログラムの流れ                                                                                                    | 実施中の様子                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10:30<br>(5分)  | <導入><br>○挨拶・「あそびのひろば」趣旨・流れ等説明<br>○自己紹介                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                 |
| 10:35<br>(20分) | <ふれあい遊び><br>○どんぐりころころ(4分)<br>○森のくまさん(4分)<br>○ぶんぶんぶん(4分)<br>○ねこふんじゃった(4分)<br>○ぞうさん(4分)<br><br>※詳細は別紙プログラムを参照 | ○皆と同じように動くにはまだ小さく難しい子が参加していたが、歌に合わせて自分なりに身体を動かしながら楽しんでいる様子であった。親も優しく見守りながら楽しんでいた。<br>○おとなしく恥ずかしそうにしている保護者がおられたが、声掛けしたり、プログラムを進めていく中で、保護者も活発になり、それに併せて子どもさらに思い切って楽しんでいる様子であった。<br>○プログラムの最後は親が子供を抱きしめて終了したが、親も子どもとても幸せそうな表情であった。 |
| 10:55<br>(5分)  | <振り返り>                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                 |
| 11:00          | <終了>                                                                                                        | ○次回の案内                                                                                                                                                                                                                          |

### 参加者の声、感想など

- 子供との距離感がさらに縮まった気がして、嬉しかった。日頃から意識してスキンシップを取ろうと思った。
- 子供がこんな動きができるとは知らなかったので、成長を感じた。自分の気分転換にもなったので、こういったイベントがあればまた参加したい。
- まだ小さいので皆についていけるか心配だったが、優しく声をかけてくださったおかげで子供も一生懸命頑張って楽しんでいた。関わり方が参考になった。

### 今回の実施に際して工夫した点、気づき、ファシリテーターの感想など

- 口頭での「あそびのひろば」趣旨説明とともに、リーフレットや、「大人への遊びの関わり方」ヒント、「遊びは学び」・「5つの力」についての説明資料を手交していたため、保護者への理解が深まっているようであった。
- 全てやるにはまだ難しいくらいの子供がいたため、周りの子との安全面に配慮しながら、「すごい、上手!お兄ちゃんだね。」「無理せずお休みしながらやろうね」などの声掛けを行った。
- ボランティア団体による進行に加え、市職員の方が、受付や活動中も安全面に気を付けながらサポートいただいたことで、参加者が集中して楽しむことができた。

「あそびのひろば」実践後には、報告シートの提出(活動中の写真等を含む)にご協力ください。事例を収集し、県HPやSNSでの周知・広報等を行います。

広島県教育委員会 乳幼児教育支援センター 電子メール: kyoyoujic@pref.hiroshima.lg.jp

## 「あそびのひろば」企画シート

|     |                                                                                                                                                                     |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日時  | 令和〇年〇〇月〇〇日(〇) 10:30 ~ 11:00 (所要時間 30分)                                                                                                                              |
| 会場  | 〇〇市こども家庭センター                                                                                                                                                        |
| 行事名 | みんなあつまれ「あそびのひろば」                                                                                                                                                    |
| 対象  | 乳幼児期の親子(約10組)                                                                                                                                                       |
| ねらい | <p>○親子で一緒に遊びを楽しみながら、保護者が「遊びを通じて子供が学んでいること」を体験的に理解する。</p> <p>○保護者に、「遊びへの大人の関わり方」について共感的理解を促し、実践につなげる。</p> <p>○子供が、試行錯誤しながら挑戦し、目標を達成することにより、考える力、やりぬく力や自己肯定感等を育む。</p> |
| 準備物 | 別紙「準備物一覧」のとおり。                                                                                                                                                      |
| 連携先 | 〇〇市こども家庭課、〇〇市教育員会生涯学習課                                                                                                                                              |
| 広報  | 市の広報誌、ホームページ                                                                                                                                                        |
| 支援者 | 「あそびのひろば」ファシリテーター (名前) 〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇                                                                                                                               |

| 時間             | プログラムの流れ                                           | 留意点                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------|----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10:00<br>(30分) | <受付>                                               | <p>○リーフレット幼児シリーズ⑧遊びへの大人の関わり編、「遊びへの大人の関わり方」のヒント・「遊びは学び」「5つの力」の説明)と、アンケートを手交し、終了後、アンケートを提出してもらうよう伝える。</p> <p>○写真を撮る場合は、予め了解を取る。(肖像権)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 10:30<br>(5分)  | <導入><br>○「あそびのひろば」趣旨・流れ等説明                         | <p>○和やかな雰囲気づくりに配慮する。</p> <p>○できない場合や、やりたくない場合には、子供のペースに応じて無理に工作を完成させなくても、見本で遊ぶだけでもよいことを伝えたと不安なくスタートできる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 10:35<br>(20分) | <製作遊び><br>○ペットボトルキャップを使って、カスタネットを作ろう!<br>※詳細は別紙を参照 | <p>○材料、道具などは机の上に置いておき、子供に自由に選択してもらう。</p> <p>○見本を置いておくが、見本通りに作らなくてもよい、自由に作ってもらうことを伝える。</p> <p>○小さい子供で道具を使うことが難しい場合などは、シール貼りや、マジックで絵をかくのは子供など、大人と子供で役割分担する。</p> <p>○作り方が分からないので教えてほしいなどの要望があれば支援をするが、基本的には子供と保護者で自由に作ってもらい、ほめ言葉など、親子への声かけを適宜入れながら進める。</p> <p>○子供が集中している時には、質問は控え目にして、<br/>「子供の行動を(具体的に)褒める」<br/>「子供の言葉を繰り返したり、言い換えたりする」<br/>「子供の行動を言葉にする」などを意識した声掛けをする。</p> <p>≪声かけの例≫</p> <p>・子供の行動を(具体的に)褒める<br/>「ここに折り紙を貼ってみたんだね、工夫していてすごいね。」<br/>「〇〇貸してあげて、えらかったね。」<br/>「マジック元のところに戻してくれて、ありがとう。」</p> <p>・子供の言葉を繰り返したり、言い換えたりする<br/>「(子供) スイカを描いたよ。」「(大人) スイカを描いたのね。」<br/>「(子供) カエルさん、ケロケロ。」「(大人) カエルさん、ケロケロって鳴くね。」</p> <p>・子供の行動を言葉にする<br/>「お魚を作っているんだね。」「シールで模様を作っているね。」</p> <p>・遊びを一緒に楽しむ。<br/>「歌いながら、カチカチ、音を出しても楽しそうだね。」</p> |
| 10:55<br>(5分)  | <振り返り>                                             | <p>○活動中の子供の様子や、言葉を紹介する。</p> <p>○アンケートへの協力依頼。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 11:00          | <終了>                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

○啓発用物品の借用希望 (あり・なし)  
⇒希望の物品の番号を記入してください。

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|

○啓発資料の送付希望 (あり・なし)  
⇒希望の資料の番号と部数を記入してください。

|     |  |  |  |  |
|-----|--|--|--|--|
| Y8  |  |  |  |  |
| 20枚 |  |  |  |  |

別紙

## （１）「あそびのひろば」趣旨

皆さん、こんにちは。（お手元にありますリーフレットにも記載しておりますが、）「遊びは学び」、どこかで聞いたこと、見たことがありますでしょうか。

ご承知のとおり、乳幼児の生活のほとんどは、「遊び」によって占められており、「遊び」の中で、色々なことに気付いたり、考えたり、工夫したり、友達、きょうだい、大人と関わりながら、たくさんの事を学んでいます。

県では、「遊び」はまさに探究の宝庫で、「遊びを通して様々なことを学んでいる」ということを「遊びは学び」として、保護者の皆様をはじめ、多くの方に対し、お伝えしているところでございます。

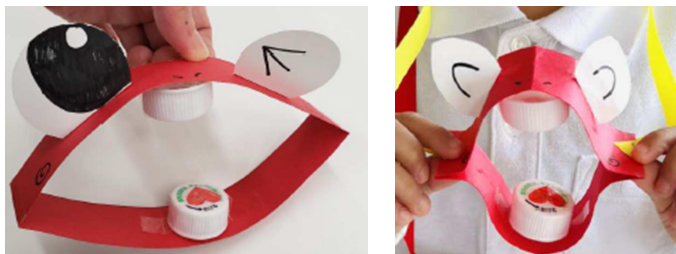
子供は自分一人でも遊びますが、大人と一緒に話したり、遊ぶことで、発見が促され、一人で遊ぶよりたくさんのことを学びます。また、新しいことを学ぶ力も、大人との遊びで育まれます。

例えば、大人はついつい「こうするのがいいよ」「それはできないよ」と言いたくなってしまうのですが、子供の姿を見守ってみると、自分のアイデアを実現するために、必要な物や情報などを集めたり、実現するための方法を考えて、色々試している姿が見られるかもしれません。

この「あそびのひろば」を通じて、そうしたことを少しでも感じていただければと思います。それでは、最後までゆっくり、お楽しみください。

### 例：画用紙を使ったカスタネット

- ＜作り方＞
- ・赤い画用紙（縦 3cm 横 18cm に切ったもの）を 2 つ用意する。
  - ・画用紙の外側に折り紙やシールなどを使って、目や模様などを付ける。
  - ・画用紙の内側の中央にペットボトルキャップをセロテープで付ける。
  - ・ペットボトルキャップが向かい合うように重ね合わせ画用紙の端をセロテープでとめる。
- ＜遊び方＞
- ・両端を持って、押し引きして音を鳴らす。



### 例：紙皿を使ったカスタネット

- ＜作り方＞
- ・紙皿を真ん中 2 つ折りにして、折り紙やシール、マスキングテープなどを使って模様を付ける。
  - ・紙皿の内側に、ペットボトルキャップが向かい合うようにセロテープで付ける。
- ＜遊び方＞
- ・外側を叩いて音を鳴らす。



## 「あそびのひろば」報告シート

|     |                                                                                           |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日時  | 令和〇年〇〇月〇〇日(〇) 10:30 ~ 11:00 (所要時間 30分)                                                    |
| 会場  | 〇〇市こども家庭センター(ネウボラ)                                                                        |
| 行事名 | みんなあつまれ「あそびのひろば」                                                                          |
| 対象  | 子供15名、保護者14名(内訳:母10名、父2名、祖父母等2名)※10組                                                      |
| ねらい | ○親子で一緒に遊びを楽しみながら、「遊びは学び」を体験的に理解する。<br>○子供が、試行錯誤しながら挑戦し、目標を達成することにより、考える力、やりぬく力や自己肯定感等を育む。 |
| 準備物 | 別紙「準備物一覧」のとおり。                                                                            |
| 連携先 | 〇〇市こども家庭課、〇〇市教育員会生涯学習課                                                                    |
| 広報  | 市の広報誌、ホームページ                                                                              |
| 支援者 | 「あそびのひろば」ファシリテーター(名前) 〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇                                                      |

| 時間             | プログラムの流れ                              | 実施中の様子                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----------------|---------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10:00<br>(30分) | <受付>                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 10:30<br>(5分)  | <導入><br>○挨拶・「あそびのひろば」趣旨・流れ等説明         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 10:35<br>(20分) | <製作遊び><br>○ペットボトルキャップを使って、カスタネットを作ろう! | ○見本のまま作る子供はほとんどおらず、マジック、シール、マスキングテープ、折り紙、リボンを使って、オリジナリティを出していた。カエルを作る画用紙タイプより、自由に飾り付けを行う紙皿タイプの方が時間がかかっていたようであった。<br>○絵を描くことが難しい小さな子供も、シールやマスキングテープを貼ることを楽しんでいた。<br>○1組は、机に移動した時点で子供が泣き出し、工作も嫌がったため、見本を使って、音を出したり、歌を歌ったりして過ごした。<br>○保護者が、まだ道具を使うのが困難なような子供であっても、最初から大人がするのはなく、「はさみで切ってみる?」など子供に問いかけていたり、困難な場合であっても、子供が「自分でする」と言った場合は、「線を描いた方が切りやすいから書こうか」と作業がしやすいような工夫をしてあげたり、手を添えて一緒に活動していたり、子供のやりたい気持ちを大切にしている様子が多く見られた。 |
| 10:55<br>(5分)  | <振り返り>                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 11:00          | <終了>                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

## 参加者の声、感想など

○家にある身近なもので作ることができてよかった。  
○下(次男)の子の世話に手がかかり、普段は、上の子(長男)になかなか手をかけてあげられないのだが、今日は、上の子がファシリテーターにたくさんほめてもらってすごく喜んでいる姿を見て、私も嬉しくなった。  
○子供がファシリテーターと会話しているのを聞いて、いつの間に家族以外の人ともしっかりと話ができるようになったのかと驚いた。  
○来年度、小学校に入学する子がおり、もっと読み書きや計算をさせた方がよいのかと不安に思っていたが、遊びから色々学んでいるということを知って安心した。

## 今回の実施に際して工夫した点、気づき、ファシリテーターの感想など

○口頭での「あそびのひろば」趣旨説明とともに、リーフレットや、「大人への遊びの関わり方」のヒント、「遊びは学び」・「5つの力」についての説明資料を手交していたため、保護者への理解が深まっているようであった。  
○子供の製作を見守りながら、保護者が、子供の好きなこと、普段の様子、ちょっとした不安を話始められる方も何名かおられた。保護者にとって、子供や自分のことについて気軽に話ができる場にもなっていると感じた。  
○保護者の中には、子供をファシリテーターや母親に任せて、自分が製作に夢中になっている方もおられたため、子供に「お父さんにここ持ってもらう?」とか「お父さんに見せてみて」などと、関わりをもってもらうような声掛けを行った。

# 子供にとって 遊びや日々の生活の全てが 学びです

「遊び」や「生活」は子供にとって探究の宝庫。

遊びや日々の生活の中で、発見すること（感じる・気付く力）、体を動かすこと（うごく力）、創造すること（考える力）、困難を乗り越えること（やりぬく力）、人と関わること（人とかかわる力）などを繰り返し経験することで、生涯にわたって主体的に学び続けることにつながります。



子供のもっている力をさらに伸ばし引き出していくためには、子供の周りにいる大人が、その子の個性を大切にし、発達に合わせて「5つの力」を育てていくことが大切だと考えています。

ちょっとしたヒントを  
ご紹介!!

# 遊びへの大人の関わり方

～大人の関わりはサポート型で～

## 遊びを一緒に楽しんでいますか？

- 親子で同じ楽しさを共有することは、親子の信頼関係を深めるとともに、子供の自己肯定感を育みます。楽しそうに見守っている大人がそばにただいて、子供は安心して遊びに集中することができます。子供の遊びを見守る中で、「楽しいね。」「すごいね。」などと声を掛けるのもいいですね。

## 子供の「ありのまま」を受け止めていますか？

- 子供はありのままの自分を温かく受け止めてくれる大人がいることで、このままで自分はいいのだという安心感、そして自信につながります。  
子供のがんばっている姿をほめ、小さな成功体験を大切にしましょう。
- 大人は、大人の願い（勉強ができてほしい等）を押しつけてしまいがちですが、その押しつけは子供の新たな気付きや学び、探索の機会を奪ってしまうこともあります。

## 好奇心の芽生えをやさしくサポートしていますか？

- 自分がやってみると何かが反応するという体験は「なぜ？」「もっとやってみたい！」という好奇心の原動力になります。子供が自分で考えて行動し、うまくいかなかったときも、すぐに批判したり、解決策を示したりするのではなく「大きさを変えてみたらどうかな？」など想像が膨らむ答えを返したり、一緒に考えたりするのはどうでしょうか。
- 子供の「見て！見て！」という言葉には「なぜ？なぜ？」という、その子なりに考えた思いが込められていることがあります。「なぜだろう？」と考えている時間も大切にしたいですね。

## 他の子と比べていませんか？

- 子供の個性やタイプはさまざまです。大人は形をみることに慣れているので、つい、出来不出来などが気になってしまいがちですが、うまくいなくても、子供自身が工夫したり、試してみたりして、自分なりに「やればできる」という達成感や「できた！」という喜びにつながる事が大切です。



広島県教育委員会乳幼児教育支援センター



子育て情報  
発信中！



## Q & A あそびのひろばの企画・実施にあたり、よくある質問を紹介します。

### 質問 1 活動内容に関する決まりはありますか？

乳幼児の親子を対象とした活動であれば、なんでも結構です。  
参加者の親子に楽しんでもいただきながら、「あそびのひろば」の趣旨である「遊びを通じて子供が学んでいること」、そのために「遊びへの大人の関わり方」が大切であることを保護者に伝える、という視点を取り入れてください。

### 質問 2 イベント名に「あそびのひろば」を入れないといけませんか？

必ずしも、イベント名に「あそびのひろば」を入れる必要はありません。質問1のとおり、それぞれの活動の場を活かして、あそびのひろばの趣旨を保護者に伝えるという視点をもった活動であれば、イベント名はなんでも結構です。

### 質問 3 企画シート・報告シートは、作成しないといけませんか？

作成は必須ではありませんが、遊びの広場の運営、振り返りの際に参考に活用してください。

### 質問 4 開催時間(何分以上)の決まりはありますか？

開催時間の決まりはありません。対象者、内容、場所等に応じて設定してください。

### 質問 5 参加する保護者に配付する啓発資料は提供いただけますか？

乳幼児教育支援センターでは、「遊びは学び」について、より多くの保護者等に知っていただけるよう、様々な取組を行っております。その一環として、啓発用物品の貸出や啓発用資料の提供を行っています。詳細は、資料集(38P～)をご覧ください。

---

## 第4章「あそびのひろば」実践事例

---

県内で開催された「あそびのひろば」の実践事例の企画シート及び報告シートを紹介しています。企画・運営の参考にしてください。

また、これまでの開催の様子は、広島県教育委員会あそびのひろばホームページで紹介しています。

### 〔実践事例〕

- 「図書館こどもまつり」(坂町)  
令和6年8月17・18日 坂町立図書館
- あそびのひろば in 無印良品フレスポ三次プラザ(三次市)  
令和6年11月16日 無印良品フレスポ三次プラザ
- 「府中町3歳児健康診査(あそびのひろば)」(府中町)  
令和6年12月13日 福寿館

## 「あそびのひろば」企画シート

|     |                                                                                                                       |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日時  | 令和6年8月16日(金)～17日(土) 10:00～12:00、13:30～15:30(所要時間 120分)                                                                |
| 会場  | 坂町立図書館                                                                                                                |
| 行事名 | 図書館こどもまつり                                                                                                             |
| 対象  | 0歳～小学生までの親子                                                                                                           |
| ねらい | ○親子で一緒に、絵本に親しみ、楽しみながら、「遊びは学び」を体験的に理解する。<br>○保護者に、「遊びへの大人の関わり方」について共感的理解を促し、実践につなげる。<br>○子どもが、本を通して様々な活有働を通して、考える力を育む。 |
| 準備物 | 別紙「準備物一覧」のとおり                                                                                                         |
| 連携先 | なし                                                                                                                    |
| 広報  | 実施後、県教委 HP で当日の様子を紹介する。                                                                                               |
| 支援者 | ファシリテーターは坂町教育委員会生涯学習課職員が担う。<br>(名前)○○○○                                                                               |
| その他 | 事前申込は、坂町教育委員会生涯学習課町民センターで行う。<br>※待ち時間が発生する可能性があるが、当日参加は可能。                                                            |

| 時間                             | プログラムの流れ                                                                | 留 意 点                                                                                                                         |
|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9:45～<br>13:15                 | <受付開始><br>○受付し、会場へ案内                                                    | ○受付時に保護者に子どもと一緒に楽しんでくださいと声掛け<br>○申込を行っていない親子にも声掛けを行い、参加を促す<br>○当日参加者に広報等掲載の可否を確認<br>○掲載不可の方に、目印を渡し、撮影は行うが広報等の掲載は行わない旨を説明      |
| 開始<br>10:00～<br>13:30<br>(75分) | <導入><br>○挨拶・趣旨・流れ等説明<br>(1) 図書館クイズ<br>(2) お楽しみ袋づくり<br>(3) おすすめ本 POP づくり | ○「あそびのひろば」の趣旨説明<br>○和やかな雰囲気づくりに配慮する<br>☆できない場合ややりたくない場合には、子供のペースに応じて無理に参加しなくてもいいことを伝える                                        |
| 11:15～<br>14:45<br>(30分)       | <読み聞かせ>                                                                 | ○読み聞かせボランティアの方が絵本を選定できるよう、事前申込から参加者層を事前に伝えておく<br>○読み聞かせ会の参加を促すが、図書館クイズ、お楽しみ袋づくり、おすすめ本の POP づくりを引き続き行いたい場合は、無理に参加しなくてもいいことを伝える |
| 11:45～<br>15:15<br>(15分)       | <うめじろう撮影会>                                                              | ○撮影場所に誘導し、記念撮影を行う<br>○参加者全員と広報掲載不可の方を除いた2パターン行う<br>○アンケートへの協力依頼                                                               |
| 12:00～<br>15:30                | <終了>                                                                    | ○アンケートの回答<br>○子どもに参加者プレゼント、保護者に「あそびのひろば」のパンフレットを手交する<br>○図書館のお仕事体験を案内する。※任意参加                                                 |

○啓発用物品の借用希望 ( あり ) なし )  
⇒希望の物品の番号を記入してください。  
5、15

○啓発資料の送付希望 ( あり ) なし )  
⇒希望の資料の番号と部数を記入してください。  
N7 30部

「あそびのひろば」企画シートの提出にご協力ください。事例を収集し、県 HP や SNS での周知・広報等を行います。  
広島県教育委員会 乳幼児教育支援センター 電子メール: kyoyoujic@pref.hiroshima.lg.jp

準備物一覧

| 団体名                     | 準備物                                                                                                  |
|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 図書館                     | 図書館の装飾<br>参加賞<br>各コーナーの印刷物等<br>図書館クイズ(掲示)、回答用紙                                                       |
| 町民センター                  | チラシ、ポスター<br>受付簿<br>カメラ<br>ノリ、鉛筆、色鉛筆、ゴミ袋<br>アンケート(大人)、アンケート(こども)、回収箱<br>各コーナーの消耗品等の購入<br>お楽しみ袋づくりの紙袋等 |
| 企画財政課                   | うめじろう着ぐるみ<br>法被                                                                                      |
| 各読み聞かせ<br>ボランティア        | 読み聞かせ用の絵本他                                                                                           |
| 広島県教育委員会<br>乳幼児教育支援センター | 啓発用部品<br>啓発資料                                                                                        |

# 「あそびのひろば」報告シート

|      |                                                                                                                  |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日時   | 令和 6 年 8 月 16 日(金) 10:00 ~ 12:00 (所要時間 120 分)                                                                    |
|      | 令和 6 年 8 月 16 日(金) 13:30 ~ 15:30 (所要時間 120 分)                                                                    |
|      | 令和 6 年 8 月 17 日(土) 10:00 ~ 12:00 (所要時間 120 分)                                                                    |
|      | 令和 6 年 8 月 17 日(土) 13:30 ~ 15:30 (所要時間 120 分)                                                                    |
| 会場   | 坂町立図書館                                                                                                           |
| 行事名  | 図書館こどもまつり                                                                                                        |
| 参加者数 | 83 名(子ども 52 名、保護者 31 名)                                                                                          |
| ねらい  | ○親子で一緒に遊びを楽しみながら、「遊びは学び」を体験的に理解する。<br>○保護者に、「遊びへの大人の関わり方」について共感的理解を促し、実践につなげる。<br>○子どもが、本を通して様々な活労働を通して、考える力を育む。 |
| 準備物  | 別紙「準備物一覧」のとおり                                                                                                    |
| 連携先  | なし                                                                                                               |
| 広報   | 実施後、県教委 HP で当日の様子を紹介する。                                                                                          |
| 支援者  | ファシリテーターは坂町教育委員会生涯学習課職員が担う。<br>(名前)○○○○                                                                          |

| 時間                             | プログラムの流れ                                                                           | 実施中の様子                                                                                                                    |
|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 午前 9:45<br>午後 13:15            | <受付開始><br>○受付し、会場へ案内                                                               | ○事前申込者は体調不良による欠席が多くあったが、申込をしていない<br>当日参加の方が多く参加した。昨年は父親の参加は 1 名であった<br>が、今年は両親または、父子で参加した方が複数組いた。<br>欠 席 者:21 名 当日参加:22 名 |
| 午前 10:00<br>午後 13:30<br>(75 分) | <導入><br>○挨拶・「遊びは学び」趣<br>旨・流れ等説明<br>(1) 図書館クイズ<br>(2) お楽しみ袋づくり<br>(3) おすすめ本 POP づくり | ○親子で楽しみながら実施していた。<br>○小さい子どもが実施するには内容が難しくと感じている親子がいた。<br>2~4 歳向けの内容を考える必要性を感じた。                                           |
| 午前 11:15<br>午後 14:45<br>(30 分) | <読み聞かせ><br>最後に参加者に啓発資料<br>セットを配布                                                   | ○読み聞かせを集中して聞けない子どもがおり、その保護者が申し訳な<br>さそうにしていた。<br>○全体の開始時にお子様が騒いでも大丈夫、と伝えていたが、読み聞<br>かせ前に再度声掛けを行った方が良かったと思われる。             |
| 午前 11:45<br>午後 15:15<br>(15 分) | <うめじろう撮影会>                                                                         | ○親子でよろこんで触れ合っていた。                                                                                                         |
| 午前 12:00<br>午後 15:30           | <終了>                                                                               |                                                                                                                           |

参加者の声、感想など

○楽しい夏の思い出になりました!子どもとゆっくり過ごせたのも良かったです。

○今年も楽しい時間が過ごせました。来年も楽しみにしています。

今回の実施に際して工夫した点、気づき、ファシリテーターの感想など

○毎年開催している図書館こどもまつりにあそびのひろばの説明を取り入れて開催した。図書館という場所であるため、子どもが騒ぐことを申し訳なく思う保護者がいた。声掛けをかけて大丈夫であることを伝えしたが、そもそも申し訳なく思うことのないイベントとなるようにしたい。

○2~4歳向けの内容を取り入れる必要がある。

保護者アンケート 学びはあそびについて 全回答 24 件

| 理解できた | やや理解できた | あまり理解できなかった | 全く理解できなかった | 未記入 |
|-------|---------|-------------|------------|-----|
| 15 件  | 6 件     | 0 件         | 0 件        | 3 件 |

## 「あそびのひろば」企画シート

|     |                                                                                                                      |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日時  | 令和6年11月16日(土) 11:00~16:00                                                                                            |
| 会場  | 無印良品フレスポ三次プラザ(三次市十日市中1丁目1-10)                                                                                        |
| 行事名 | あそびのひろば in 無印良品フレスポ三次プラザ                                                                                             |
| 対象  | 未就学児(2歳以上)と保護者及び同伴者                                                                                                  |
| ねらい | ○親子で一緒に遊びや会話を楽しみながら、「遊びは学び」を体験的に理解する。<br>○様々な作品を作ることを通して、豊かな想像力や表現力を育む。<br>○試行錯誤しながら挑戦し、目標を達成することにより、やりぬく力や自己肯定感を育む。 |
| 連携先 | 株式会社良品計画 無印良品フレスポ三次プラザ(県との包括的連携協定締結企業)                                                                               |
| 広報  | 乳幼児教育支援センターで、事前に、県教委 HP、県及び県教委 SNS、母子モを活用した広報を行い、実施後は、県教委 HP 及び母子モ等で当日の様子を紹介する。                                      |
| 支援者 | ファシリテーターは乳幼児教育支援センター職員および三次市ファシリテーター、みよし学園家庭教育支援チーム“きりこちゃん”が担当。<br>乳幼児 C:〇〇〇〇 三次市 F:〇〇〇〇 家庭教育支援 C:〇〇〇〇               |
| その他 | 事前申込は行わない。                                                                                                           |

| 時間  | プログラムの流れ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 留意点                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 随時  | <p>事前申し込みは不要としているため、随時参加してもらう。<br/>参加開始時に受付で手交用資料(遊びへの大人の関わり方・「5つの力」の説明)を渡し、最後にアンケートにお答えいただきたいことをお伝えする。</p> <p><b>(1) 海にいる生き物(魚他)の紙工作及び魚釣り</b></p> <p>●材料(紙コップ又は紙皿)を参加者に一つずつ渡す。<br/>●参加者は各机でマジック、シールやマスキングテープ等を使って魚の模様をつけ、魚を作る。<br/>※材料、道具等は机の上に置いておく。<br/>●魚ができたら、リボン(又はラッピングワイヤー)をテープで貼り付ける又はホッチキスで留めて完成。<br/>●制作した魚を、ブルーシートの上に置き、先にS字フックのついた竿を使って、釣りを楽しむ。<br/>(釣り竿は割り箸や新聞紙、S字フックも大小様々用意し、参加者は自由に選びながら行う。)</p> | <p>○工作が終了した者が魚釣りへと移動するが、竿の危険な使い方がないよう監視する。</p> <p>○工作が難しい小さい子や絵を描くのが苦手な子は、シール貼りだけやブルーシートの魚で遊ぶだけでもよい(無理強いはいしない)。</p> <p>○何か困っている家族がいれば、声を掛け適宜サポートする。</p> <p>声掛け例:「テープで貼るの(ホッチキスで留めるの)自分でやってみる?難しかったらお母さん(お父さん)に手伝ってもらおう?」「竿は長いのが短いのが、固いのが柔らかいのがあるから色々試してみてね」</p> |
| 終了時 | <p><b>(2) アンケートの実施</b></p> <p>●最後に、保護者に、「遊びは学び」の理解度について、アンケートに回答してもらい、リーフレットセットをお渡しする。<br/>アンケートは保護者の手を取らないよう、大型のアンケート用紙を掲示し、「遊びは学び」の理解度を4段階に分け、該当箇所にシールを貼って回答してもらう。</p>                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                 |

### (1) 海にいる生き物(魚他)の紙工作及び魚釣り

**魚の紙工作** 作り方に決まりはないので、参加者が自由に作成する。

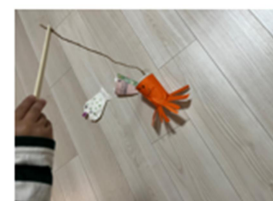
できたら、S字フックを引っかけるためのリボン(又はラッピングワイヤー)をテープやホチキスで付ける。

<材料> 紙コップ、紙皿、折り紙、シール、ビニールテープ、マジック、マスキングテープ、ラッピングワイヤー、リボン

<道具> のり、ハサミ、ホチキス、セロテープ、両面テープ

**魚釣り** ブルーシートに作った魚を置く。準備した釣り竿から好きな竿を選び、釣りを楽しむ。

<道具> 釣り竿、ブルーシート(3.6m×1.4m)



## (2) 保護者にアンケートの実施

最後に保護者に「遊びは学び」の理解度について、アンケート調査を行う。アンケートは保護者の手を取らないよう、大型のアンケート用紙を掲示し、「遊びは学び」の理解度を4段階に分け、該当箇所にシールを張ってもらう。

| 理解できた     | やや理解できた | あまり理解できなかった | 全く理解できなかった |
|-----------|---------|-------------|------------|
| ● ● ● ● ● | ● ● ●   | ●<br>●      | ●          |

## (3) 参加者との関わり方の一例

### 「具体的に褒める」

子供の適切な行動に対して、大人が何をよいと思ったか、具体的に伝え、子供がわかりやすく、子供のよい行動を増やすことにつながる。その際、タイミング（目に入ったらすぐに）、視線（目の高さを合わせる）、声の調子（大人が喜んでいることが伝わる）にも気を付ける。

（褒める）「ケガをしないようにはさみが使えたね、すごいね。」「順番を待ってくれてえらかったね。」「すごく長い間回るね」「きれいな音になってすごいね。」

（感謝の気持ちを伝える）「ゴミを捨ててくれてありがとう。」「はさみを貸してくれてありがとう。」

（興味・関心を示す）「ここに折り紙を貼ってみたんだね、工夫しているね。」「この模様がきれいだね」

### 「遊びと一緒に楽しむ」

子供に、「自分のことをいつも見てくれている人がいる」と感じてもらう。嬉しさ、楽しさをことばにし、笑顔になることで、嬉しさ、楽しさを子供と共有する。

（行動に気付いていることを知らせる）「元のところに戻してくれたんだね、ありがとう。」

（励ます）「あともう少し、がんばって。」「いいね、いいね、その調子。」

（ほほえむ）Good サインや、OK サインを出したり、ハイタッチなどのふれあいも。

（誘ってみる）「では、いよいよやってみようか。」

### 「好奇心の芽生えを優しくサポートする」

子供が迷ったり悩んだりしていたら、まずはそれを受け止め、子供のイメージを大切に、先取りしないようにする。

・何から手を付けていいかわからず困っている。「どっちがいい?」とたずねても答えなかったり、「わからない」「〇〇が決めて」と言う。

→「迷うよね。ゆっくり考えていいよ。」「少しずつできてきているね。」と優しく声を掛けてみる。

→物の姿かたちを描かなくてもいいので、「テープやシールもあるからね」と別の方法があることも伝える。

・輪郭を切り終わっても、切るのが楽しくて切り続けてバラバラになった。

→テープを貼ろうと並べた紙がバラバラになった場合は「〇〇（大人）がもっておこうか?」と声をかけ、うなずいたら、少し手伝って、テープを貼りやすくする。

・何度も挑戦しているが、なかなか思うようにならない。自分でうまくできなくていらだっている。

→「難しくておもしろいね。」「成功するのが楽しみだね。」と前向きなことばを掛けてみる。

### 「子供の「ありのまま」を受け入れる」「他の子と比べない」

子供の作ったものは、子供自身の表現であり「今できていること」に注目する。大人から見た「うまい・へた」の価値基準は捨て、子供ならではの「今」だけの表現を楽しむ。

・空白箇所が多くみられるなど、未完成のようだが、「できた!」と作業を終える。

→「いいものができたね。」と声を掛けたり、時には「ここ（空白の部分）に色を塗ったり、描いたりしてみてもいいよ?」とたずねる。工夫して手が加えられたら、「（色んな色で）ぬれたね。この部分がさらによくなったね。」と褒めたりする。

## 「あそびのひろば」報告シート

|     |                                                                                                                      |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日時  | 令和6年11月16日(土) 11:00~16:00                                                                                            |
| 会場  | 無印良品フレスポ三次プラザ(三次市十日市中1丁目1-10)                                                                                        |
| 行事名 | あそびのひろば in 無印良品フレスポ三次プラザ                                                                                             |
| 参加者 | 38組 およそ120名                                                                                                          |
| ねらい | ○親子で一緒に遊びや会話を楽しみながら、「遊びは学び」を体験的に理解する。<br>○様々な作品を作ることを通して、豊かな想像力や表現力を育む。<br>○試行錯誤しながら挑戦し、目標を達成することにより、やりぬく力や自己肯定感を育む。 |
| 連携先 | 株式会社良品計画 無印良品フレスポ三次プラザ(県との包括的連携協定締結企業)                                                                               |
| 広報  | 乳幼児教育支援センターで、事前に、県教委 HP、県及び県教委 SNS、母子モを活用した広報を行い、実施後は、県教委 HP 及び母子モ等で当日の様子を紹介する。                                      |
| 支援者 | ファシリテーターは乳幼児教育支援センター職員、三次市ファシリテーター及びみよし学園家庭教育支援チーム“きりこちゃん”が担う。<br>乳幼児 C:〇〇〇〇 三次市 F:〇〇〇〇 家庭教育支援 C:〇〇〇〇                |

| 時間  | プログラムの流れ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 実施中の様子                                                                                                                                                                                   |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 随時  | <p>事前申し込みは不要としているため、随時参加してもらう。<br/>参加開始時に受付で手交用資料(遊びへの大人の関わり方・「5つの力」の説明)を渡し、最後にアンケートにお答えいただきたいことをお伝えする。</p> <p><b>(1) 海にいる生き物(魚他)の紙工作及び魚釣り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●材料(紙コップ又は紙皿)を参加者に一つずつ渡す。</li> <li>●参加者は各机でマジック、シールやマスキングテープ等を使って魚の模様をつけ、魚を作る。<br/>※材料、道具等は机上に置いておく。</li> <li>●魚ができたら、リボン(又はラッピングワイヤー)をテープで貼り付ける又はホッチキスで留めて完成。</li> <li>●制作した魚を、ブルーシートの上に置き、先にS字フックのついた竿を使って、釣りを楽しむ。<br/>(釣り竿は割り箸や新聞紙、S字フックも大小様々用意し、参加者は自由に選びながら行う。)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・工作や釣り遊びの場面で、多くの親が合わせてしゃがみ込んで見守ったり、手を添えて手伝ったり、釣れたら一緒に喜んだり、写メを撮ったりなど、親子で楽しんでいる様子が見られた。</li> <li>・参加者が途切れる時間がなかったため、ほかの参加者も参加しやすい状況ができた。</li> </ul> |
| 終了時 | <p><b>(2) アンケートの実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●最後に、保護者に、「遊びは学び」の理解度について、アンケートに回答してもらい、リーフレットセットをお渡しする。<br/>アンケートは保護者の手を取らないよう、大型のアンケート用紙を掲示し、「遊びは学び」の理解度を4段階に分け、該当箇所にシールを貼って回答してもらう。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                          |

### 今回の実施に際して工夫した点、気づき、ファシリテーターの感想など

・今回、無印良品の入る商業施設全体(スーパーマーケット、薬局、飲食店などと併設)の開店一周年のイベント日に開催をさせていただいた。お見かけする乳幼児期の親子のほぼ全ての方が参加してくださった印象。また、外でお声かけした方々も多くの皆さんが立ち寄ってくださった。

・参加いただいたボランティアの皆さんが、子育て支援センター・小・中学校など活発に活動されており、参加者と顔見知りであったり、店舗の方も一緒になって盛り上がったりと、終始アットホームな雰囲気であった。

・無印良品スタッフの方も、午後は、あそびのひろば受付のすぐ横でチョコレートの試食ブースを開いて、お客様を集めてくださったり、入口に立って1~2時間程度、開催チラシを配布して呼び込んでくださったりと、とても協力的であった。

### 三次市ボランティアの皆さんからの感想

・お子様方のありのままを受け止めて、少しでもやりたい気持ちを伸ばせるように応援できたという思いで対応させて頂きました。どのご家庭も、温かい雰囲気でお楽しみにおられたご様子に安心致しました。

・出会いの中でお二人のお子様が、親や祖母の顔を伺いながら動いておられたので、大人がどうおっしゃるかをしっかり伺って、次の対応を考えて致しました。「お祖母さんに聞いてから作ろうと思うのね」と気持ちを聞くと、「少し自分で考えてやってみると言われたことが、印象的でした。やはり、お子様の気持ちをそのまま受け止めると、お子様は自分で考え決定して前進される事を体験致しました。

## 「あそびのひろば」企画シート

|     |                                                                   |
|-----|-------------------------------------------------------------------|
| 日時  | 令和6年12月13日(金) 検診受付13:00~13:30 14:00頃~開始(内科診察終了以降の待ち時間)            |
| 会場  | 福寿館(安芸郡府中町浜田本町5-25)                                               |
| 行事名 | 府中町3歳児健康診査(集団検診)                                                  |
| 対象  | 当該検診に来られる保護者                                                      |
| ねらい | 府中町と連携し、検診の場を通じて、本県の乳幼児期の教育・保育の基本的な考え方である「遊びは学び」について、保護者に知っていただく。 |
| 準備物 | 啓発資料22種、掲示物(5つの力)、工作道具(折り紙、見本)、幟り旗                                |
| 連携先 | 府中町保健福祉部子育て支援課                                                    |
| 支援者 | ファシリテーターは県教育委員会乳幼児教育支援センター職員が担う。<br>(名前)○○○○、○○○○                 |

| 時間                                     | プログラムの流れ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 留意点                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 14:00<br>ごろ<br>(身体測定<br>終了後、設<br>営・開始) | <p>(健診の流れ)<br/>(廊下)受付→(別室)視覚→尿→(ホール)脱衣→身体測定→<br/>●診察→事後相談→終了<br/>●受診者全員の身体測定終了後のスペースをお借りし、内科診察<br/>終了以降の待ち時間を使って実施。</p> <p><b>紙コプターの工作遊び</b><br/>・ブースに出向いて来られるご家庭に、材料を配付し、作って遊ぶ。<br/>ご希望の家庭に、啓発資料「幼児⑧遊びへの大人の関わり編」を<br/>お渡しする。他の資料も自由にお持ち<br/>帰りいただけるように配置する。</p>  <p style="text-align: center;">幼児⑧ 遊びへの大人の関わり編</p> <p><b>事後相談での資料配付</b><br/>・事後相談(保健)において、府中町からの配付資料に添えて、<br/>「二次元コード一覧表」をお渡しいただく。</p> | <p>・健診の場にお邪魔しているため、受診及び運営<br/>の妨げとならないよう注意。<br/>威圧的に感じないように、スーツではなくカジュアル<br/>な服装。人数も最小限に(最大5人程度まで)。<br/>・希望に応じて行う。積極的な声掛けはしない。<br/>・工作遊び中に受診の番が来たら、受診を促す。<br/>・必要に応じて、兄弟にも提供。<br/>・順番待ちの状況により、希望してもできなかった<br/>方へは、折り紙・啓発資料(幼児⑧)の配付(不<br/>平等感が生じないための配慮)。</p> |
|                                        | <p><b>啓発資料の掲出</b><br/>・啓発資料(5つの力)を掲示。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                              |

|                     |  |  |  |  |
|---------------------|--|--|--|--|
| ○啓発用物品の借用希望 (あり・なし) |  |  |  |  |
| ⇒希望の物品の番号を記入してください。 |  |  |  |  |
|                     |  |  |  |  |

|                        |              |  |  |  |
|------------------------|--------------|--|--|--|
| ○啓発資料の送付希望 (あり・なし)     |              |  |  |  |
| ⇒希望の資料の番号と部数を記入してください。 |              |  |  |  |
| NY 全て<br>(各30部)        | 10<br>(各30部) |  |  |  |

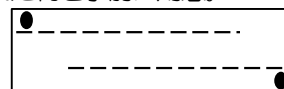
「あそびのひろば」企画シートの提出にご協力ください。事例を収集し、県HPやSNSでの周知・広報を行います。  
広島県教育委員会 乳幼児教育支援センター 電子メール: kyoyoujic@pref.hiroshima.lg.jp

**紙コプター** 右図のとおり、短冊をS字（点線部分）に切り、●に切り込みを入れた物を事前に用意。

＜作り方＞ 中央部分を持ち、図の●の切り込み部分同士を組み合わせ  
綴じる。

※いつもはクリップで綴じるが、誤飲の危険等に配慮。

＜遊び方＞ 上から落とすと、くるくる回る。



## 啓発資料（24 種類）

子供にとって大切な「遊びは学び」という考え方を、保護者をはじめとした、多くの皆さんに知っていただくため、家庭での子供とのよくある場面をテーマに、「遊びや生活の中に学びがあること」「子供との関わり方で大切にしたい視点」などをわかりやすく説明したリーフレットや動画をご紹介します。

### 乳児（0～2歳）シリーズ

- （1）排泄自立編
- （2）指差し編
- （3）繰り返し遊び編
- （4）イヤイヤ期編
- （5）いないいないばあ編
- （6）基本的な生活習慣編
- （7）読み聞かせ編
- （8）おやつやおもちゃの選択編
- （9）お手づかみ食べ編
- （10）一人遊び編
- （11）子供の世界の広がり編
- （12）ふれあい遊び編

### 幼児（3～5歳）シリーズ

- （1）着替え編
- （2）なぜなぜ期編
- （3）がまん編
- （4）ごっこ遊び編
- （5）好きを見つける編
- （6）基本的な生活習慣編
- （7）スマートフォン編
- （8）遊びへの大人の関わり編
- （9）食事の困りごと編
- （10）自然や生き物との関わり編
- （11）子供のイライラ・親のイライラ編
- （12）お手伝い編

## 「あそびのひろば」報告シート

|     |                                                                   |
|-----|-------------------------------------------------------------------|
| 日時  | 令和6年12月13日(金) 検診受付13:00~13:30 14:00頃~開始(内科診察終了以降の待ち時間)            |
| 会場  | 福寿館(安芸郡府中町浜田本町5-25)                                               |
| 行事名 | 府中町3歳児健康診査(集団検診)                                                  |
| 対象  | 当該検診に来られた20組                                                      |
| ねらい | 府中町と連携し、検診の場を通じて、本県の乳幼児期の教育・保育の基本的な考え方である「遊びは学び」について、保護者に知っていただく。 |
| 準備物 | 啓発資料22種、掲示物(5つの力)、工作道具(折り紙、見本)、幟旗                                 |
| 連携先 | 府中町保健福祉部子育て支援課                                                    |
| 支援者 | ファシリテーターは県教育委員会乳幼児教育支援センター職員が担当。<br>(名前)〇〇〇〇、〇〇〇〇                 |

| 時間                                     | プログラムの流れ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 実施中の様子                                                                                                                                             |
|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 14:00<br>ごろ<br>(身体測定<br>終了後、設<br>営・開始) | <p>(健診の流れ)<br/>(廊下)受付→(別室)視覚→尿→(ホール)脱衣→身体測定→<br/>●診察→事後相談→終了<br/>●受診者全員の身体測定終了後のスペースをお借りし、内科診察<br/>終了以降の待ち時間を使って実施。</p> <p><b>紙コプターの工作遊び</b><br/>・ブースに向向いて来られるご家庭に、材料を配付し、作って遊ぶ。<br/>ご希望の家庭に、啓発資料「幼児⑧遊びへの大人の関わり編」を<br/>お渡しする。他の資料も自由にお持ち<br/>帰りいただけるように配置する。</p>  <p>幼児⑧ 遊びへの大人の関わり編</p> <p><b>事後相談での資料配付</b><br/>・事後相談(保健)において、府中町からの配付資料に添えて、<br/>「二次元コード一覧表」をお渡しいただく。</p> | <p>・机上に配置していた啓発資料の中で、幼児⑤<br/>「好きを見つける編」の新幹線のイラストに興味<br/>を持った子供がおられ、それをきっかけに啓発資<br/>料をお持ち帰りいただいた。</p> <p>・折り紙が破れたと持ってこられた方へは、追加で<br/>折り紙をお渡しした。</p> |
|                                        | <p><b>啓発資料の掲出</b><br/>・通路の壁面に啓発資料(5つの力)を掲示。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                    |

### 参加者の声、様子など

- ・府中町職員によるお声かけもあり、順番待ちの方が一斉に集まってこれ一時的に混雑した。その後は、診察や事後相談の合間で  
の疎らな参加であった。
- ・遊んだ後は、府中町の絵本貸出しブースの絵本を使って、多くのご家庭が読み聞かせをされていたのが印象的であった。

### 今回の実施に際して工夫した点、気づき、ファシリテーターの感想など

- ・一時的に混雑した場合など、みなさんに見えるように1人または2人が作り方をお伝えし、それを他のスタッフが親子を補助するな  
ど、やり方も試してみてもいいかもしれない。
- ・また、ポスターだけではなく、どのような工作ができるかをイメージできるようなチラシ等を掲示しても良いと感じた。
- ・工作遊びに併せて幼児⑧「遊びへの大人の関わり編」を手渡すことで、「遊びは学び」を知っていただくきっかけになった。また府  
中町から提案いただいた二次元コード一覧表を事後相談で、保健師から受診者全員に直接配付いただいたことで、帰宅後等でも  
興味に応じて閲覧いただける点はよかった。